



# 佐保田の丘

奈良教育大学附属中学校通信 (通算五十八号)  
二〇二二(令和四)年七月五日発行

## ガラパゴスの是非

校長 松田 孝史

2015年にスマートフォンと携帯電話の所有率が逆転して以来、スマートフォンのそれは今や94%にもなっているそうです。そしてすっかり少数派になってしまった従来型携帯電話を、我々は「ガラケー」と呼んでいます。ご存じのように「ガラケー」とは「ガラパゴスケータイ」を略した名称です。当時、日本の携帯電話は国内で求められるサービスを優先して搭載するようになり、日本国内ではたいへん便利でありましたが、海外市場では無駄な機能が多いことが仇となり販売が伸びず、結果、日本国内向けにさらに「進化」させることとなり、ついには日本国内にだけ存在する特別な携帯電話ができてしまいました。このように、「進化の行き詰まった商品」のことをガラパゴスの名を使って言い表したのと思われまふ。

一般的には、こうしたことはビジネスの失敗例としてあげられています。商品を販売する場合には、どこかの国や地域のサービスに特化したものではなく、世界のどこでも誰でもが標準的に便利に使える「グローバル対応モデル」を販売することが、大きな利益をあげるためには必要とされているようです。しかし、ガラパゴスであることは必ずしも時代遅れとか、役立たずであるということの意味はしません。ガラパゴスは元々、東太平洋赤道直下にあるガラパゴス諸島の名前です。約二百年前にそこを訪れたチャールズ・ダーウィンが後に進化論を着想したことは有名な話です。そこは遙か昔に大陸と断絶したことにより、動物たちが独自の進化を遂げ、他ではみられない独特の色や形をもった動物が登場することになりました。ガラパゴス諸島は、いわば個性の宝庫であり、新しいアイデアの源泉であったのです。

たしかに商品のありようとしては「グローバル」で「ユニバーサル」なものは一見重宝で販売が伸びることは言うまでもないでしょう。しかし、人のありようとしては、「グローバル」である前に、その人がいかに个性的で、世の中に発信すべき意義のあるアイデアを持っているかが重要です。話すべき内容も持っているのに、とにかく英語を話すことが「グローバル化」であるかのように短絡的に結びつけてしまうことと似ていると思います。

「グローバル化」が求められて久しい今、私たちはつい「世界標準」や「汎用的のある思考」を重視してしまいがち。しかしその前に、思いっきり「ガラパゴス化」することを求めても良いのではないのでしょうか。「ガラパゴス化」することで、地域の中で歴史や文化に触れながら、内容を伴って個性や感性が磨かれることとなり、自分の生き方や考え方に確固とした思想が備わるのだと思います。そうした人材が、世界の他の「ガラパゴスなもの」と接触し、うまく「化学変化」を起こしたときに、はじめて本当の意味の「グローバル」なものが生まれてくるのではないかと思います。

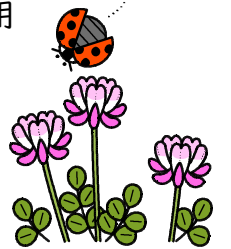
## 黒髪山キャンプフィールドの活用

長く続くコロナ禍で、マスクを付けた学校生活や黙食などが、本校でもあたりまえになってきています。この生活習慣の大変化は、生徒間でお互いの表情が見えにくくなったり、ふれあいや友達付き合いが制限されるなど、生徒の健全な心身の発育に少なからず悪影響を及ぼしてきていると指摘する専門家もいます。コロナ以前の4月の学級開きでは、仲間づくりや人間関係を形成できるように特別な活動ができていましたが、種々の行動制限によって、なかなか難しい状況になっていました。本校ではこのような状況を、なんとか改善できないかと考えていました。

そんな折、奈良市教育委員会と奈良市黒髪山キャンプフィールド運営協議会のお力添えを得て、黒髪山キャンプフィールドの平日開所を行っていただくことができました。コロナ禍で失われている子どもの活動に対する支援を求めた本校の要望に添えていただき、心より感謝をしています。これによって学級・学年の活動をアウトドアの自然豊かな環境で行うことができ、校内よりも活動的なプログラムが可能になりました。

4月18日(月)にはさっそく1年生が、昼食と5時限目6時限目を活用して、活動させていただきました。1年生は4時間目が終わると体操服に着替え、お弁当を持って各クラスごとに出かけました。徒歩約10分です。自然の中で広げるお弁当は格別でした。その後、学年の教員が考えたオリジナルのグループフィールドワークに取り組み、みんなで森を駆け回りました。初めて会話するクラスメイトもいましたが、同じ課題に協力しながら取り組むことで少しずつ堅さが取れてきました。このような恵まれた自然の中で活動できて、生徒も教員も満足したように思います。入学したての1年生の表情も少し和らぎ、笑顔がたくさん見られました。これから、2年生3年生も随時利用の計画を立てています。

主幹教諭 有馬一彦



## 《今後の主な予定》※予定は変更される可能性があります。

- 7月
  - 13日 3年4〜6限特別校外学習(黒髪山キャンプフィールド)
  - 14日 1学期期末懇談会①午後
  - 15日 1学期期末懇談会②全日
  - 19日 1学期期末懇談会③全日
  - 14日 5限生徒写真撮影(1年)
  - 20日 1学期終了式
  - 21日 夏期休業(8月31日)
- 8月
  - 26日 3年学力診断テスト①
- 9月
  - 1日 2学期始業式・午後有志発表準備
  - 2日 文化部有志発表会(仮称)全日
  - 5日 教育実習(9月30日)
  - 9日 2年生大学研究室訪問
  - 20日 生徒会選挙公示
  - 26日 3年学力診断テスト②
- 10月
  - 1日 英検団体受検日 後期開始
  - 5日 1・2年合同奈良めぐり
  - 6日 3年生修学旅行九州方面①
  - 7日 3年生修学旅行九州方面②
  - 8日 3年生修学旅行九州方面③
  - 11日 3年代休
  - 20日 中間テスト①
  - 21日 中間テスト②
  - 29日 オープンスクール(31日代休)
- 11月
  - 1日 3年学力診断テスト③
  - 4日 3年生卒業研究発表会
  - 11日 3年生保護者対象進路説明会(16時〜)
  - 14日 3年進路懇談①午後
  - 15日 3年進路懇談②午後
  - 17日 3年進路懇談③午後
  - 18日 3年進路懇談④午後
  - 24日 2学期期末テスト(28日)
  - 29日 採点評価日(家庭学習日)
- 12月
  - 2日 3年幼稚園交流会
  - 13日 1年社会見学
  - 19日 2学期期末懇談午後(20日21日全日)
  - 22日 2学期終業式
  - 23日 冬季休業(1月6日)



附中の小窓

